



## 平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成16年8月12日

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社 (コード番号: 5476 東証第1部)  
 (URL <http://www.koshuha.co.jp/>)  
 問合せ先 代表者役職・氏名 取締役社長 池田 辰雄 TEL:(03) 5687 6025  
 責任者役職・氏名 取締役管理部長 田中 慶寿

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

### 2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

#### (1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注)金額の百万円未満は切捨て

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年3月期第1四半期	8,394 1.2	410 -	390 -	236 -
16年3月期第1四半期	8,297 -	- -	- -	- -
(参考)16年3月期	31,354	924	597	60

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第1四半期	1.61	-
16年3月期第1四半期	-	-
(参考)16年3月期	0.41	-

(注)1. 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 売上高以外の項目につきましては、当第1四半期より開示を行っているため、前年第1四半期実績及び対前年第1四半期増減率は記載しておりません。

#### [ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期（平成16年4月1日～平成16年6月30日）のわが国経済は、設備投資の増加などから企業収益も改善しており、着実に景気回復傾向が見られます。

このような環境の中で、当社グループの受注は全般的に好調に推移し、当第1四半期の売上高は前年同期比1.2%増の8,394百万円となりました。

部門別売上高としましては、特殊鋼部門は軸受鋼が加工業務一部移管により1,552百万円と前年同期比26.6%減少しましたが、工具鋼、高級ステンレス鋼は主要需要業界である自動車関連産業、エレクトロニクス関連産業などからの受注が好調であったことと製品構成改善効果により4,720百万円と前年同期比15.7%増加したため、全体で6,272百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

金型工具部門は701百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

鋳鉄部門は主に自動車・建設機械・産業機械関連産業向け受注が堅調であり、1,421百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

利益につきましては、価格改善効果などがあり連結営業利益は410百万円、連結経常利益は390百万円、連結四半期純利益は236百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	43,063	19,121	44.4	130.25
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	42,409	18,827	44.4	128.24

[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期の総資産は前連結会計年度末に比べて654百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金が768百万円、たな卸資産が321百万円増加する一方、預入金を含む現金及び預金が433百万円減少したことによるものです。同様に負債は359百万円増加しました。これは長・短借入金が266百万円減少する一方、賞与引当金等が625百万円増加したことによるものです。また、株主資本は294百万円増加し、株主資本比率は44.4%となりました。

[ 参 考 ]

平成17年3月期通期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

現時点では原材料価格動向など事業環境を見極めることが困難なため、連結・単独業績とも業績予想の修正は行いません。

[ 添付資料 ]

1. 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期末(A) (16.6.30 現在)	前連結会計年度末(B) (16.3.31 現在)	(A) - (B)
( 資 産 の 部 )	( 43,063 )	( 42,409 )	( 654 )
1. 流 動 資 産	19,248	18,517	731
現 金 及 び 預 金	2,004	1,755	249
預 入 金	-	682	682
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	8,361	7,593	768
有 価 証 券	21	21	-
た な 卸 資 産	8,270	7,949	321
前 払 費 用	100	83	17
そ の 他	511	450	61
貸 倒 引 当 金	21	18	3
2. 固 定 資 産	23,814	23,891	77
有 形 固 定 資 産	[ 20,412 ]	[ 20,543 ]	[ 131 ]
建 物 及 び 構 築 物	3,488	3,556	68
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	8,652	8,757	105
土 地	7,855	7,855	-
建 設 仮 勘 定	214	169	45
そ の 他	200	204	4
無 形 固 定 資 産	[ 37 ]	[ 34 ]	[ 3 ]
投 資 其 他 の 資 産	[ 3,365 ]	[ 3,313 ]	[ 52 ]
投 資 有 価 証 券	2,146	2,080	66
長 期 貸 付 金	714	732	18
長 期 前 払 費 用	40	16	24
そ の 他	544	562	18
貸 倒 引 当 金	80	79	1
資 産 計	43,063	42,409	654

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期末(A) (16.6.30現在)	前連結会計年度末(B) (16.3.31現在)	(A) - (B)
(負債の部)	( 23,941 )	( 23,582 )	( 359 )
1. 流動負債	15,063	14,787	276
支払手形及び買掛金	6,757	6,827	70
短期借入金	5,497	5,452	45
長期借入金 (1年以内返済)	672	998	326
未払金	298	216	82
未払法人税等	59	56	3
未払消費税等	122	114	8
未払費用	906	752	154
賞与引当金	689	328	361
その他	58	39	19
2. 固定負債	8,877	8,795	82
社債	200	200	-
長期借入金	1,249	1,234	15
繰延税金負債	214	184	30
土地再評価に係る 繰延税金負債	1,320	1,320	-
退職給付引当金	5,275	5,160	115
役員退職慰労引当金	106	162	56
長期預り金	428	428	-
その他	82	103	21
(資本の部)	( 19,121 )	( 18,827 )	( 294 )
1. 資本金	15,669	15,669	-
2. 資本剰余金	1,728	1,728	-
3. 利益剰余金	703	952	250
4. 土地再評価差額金	2,018	2,018	-
5. その他有価証券評価差額金	327	282	45
6. 為替換算調整勘定	83	84	1
7. 自己株式	4	3	1
負債・資本計	43,063	42,409	654

## 2. 四半期連結損益計算書

( 単位 : 百万円 )

科 目	当第 1 四半期 ( 16.4.1 ~ 16.6.30 )	前連結会計年度 ( 15.4.1 ~ 16.3.31 )
1. 売上高	8,394	31,354
2. 売上原価	7,119	27,217
売上総利益	1,275	4,137
3. 販売費及び一般管理費	864	3,212
営業利益	410	924
4. 営業外収益	102	287
受取利息及び配当金	15	39
貸 貸 料	9	44
そ の 他	77	203
5. 営業外費用	123	614
支 払 利 息	45	232
持分法による投資損失	17	111
そ の 他	60	271
経常利益	390	597
6. 特別利益	-	10
貸倒引当金取崩益	-	10
7. 特別損失	114	482
退職給付債務変更時差異償却額	114	456
固定資産売却損	-	18
ゴルフ会員権評価損	-	7
税金等調整前当期純利益	276	124
法人税、住民税及び事業税	39	64
当期純利益	236	60

## 3. 連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 ( 16.4.1 ~ 16.6.30 )	前連結会計年度 ( 15.4.1 ~ 16.3.31 )
(資本剰余金の部)		
1. 資本剰余金期首残高	1,728	1,728
2. 資本剰余金増加高	-	-
3. 資本剰余金減少高	-	-
4. 資本剰余金期末残高	1,728	1,728
(利益剰余金の部)		
1. 利益剰余金期首残高	952	995
2. 利益剰余金増加高	250	60
連結子会社 合併に伴う増加高	13	-
四半期(当期)純利益	236	60
3. 利益剰余金減少高	0	17
連結子会社 解散に伴う減少高	-	15
役員賞与	0	2
4. 利益剰余金期末残高	703	952